
絶望

Drealist

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

絶望

【Nコード】

N2117C

【作者名】

Drealist

【あらすじ】

自殺をしよう。今が決心のときだ。

走る、走る。
車が、走る。

何台も何台も、目の前を通り過ぎていく。

俺はタイミングを見計らっていた。

どうすれば苦痛を最小限に、絶望を終わらせることができるのか。

そもそも、この世に「善」なんてものは存在しない。

少し考えればわかるが、善とは建前で、悪とは本心のことをいう。誰もか心のうちでは、自分の利益を考えている。

他人よりも身近な人。身近な人よりも彼女。彼女よりも自分。

俺はそう言われ、そして傷ついてきた。

だが俺は理解している。

俺も悪だ、と。

いま考えていることは、すべておのれに利のあることだ、と。

だから車に轢かれて運転手がどうなるかと、

道路が血や肉片で汚れようと、

それを見た子供が一生いえることのない傷を背負おうと、

知ったことじゃない。

俺はタイミングを見計らっていた。

どうも一撃で終われそうなデカいのが来ない。

そう思ってみると、案外すぐにトラックが走ってきたりする。

スピードはあまり思わしくないが、なによりその重さが魅力的だった。

トラックが近づくの、今か今かと待ち構える。

はっ、と気づいた。

なにを俺は期待しているんだ。
なぜ希望なんかもっているんだ。
俺は絶望に苛まれないと死ねないんだ。
激しい憤りが血管を駆け巡る。
死ぬことにすら、希望を抱くなんて俺は

目の前が憤りで見えなくなっている間に、なにかが車道に飛び出し
ているのに気づいた。

先を越された　！？

俺もそれに倣って飛び出した。

予想以上に、トラックは遅かった。

俺より先に飛び出したものを見つめるだけの時間があった。

ガキだった。

俺の嫌いな、子供。

あどけない顔を見ていると、ぶっ飛ばしたくなる。

現に俺はぶっ飛ばしていた。

腕をつかんで、思いっきり投げ飛ばしていた。

歩道のほうへと。

ガキが転がるのを眺め、俺は振り向いた。

もう……もう、うんざりだ。

せつかく諦めたのにまだこんなガキを救おうとする不甲斐なさに、
にもかかわらず救うことのできない愚かさ、

そしてこんな瀬戸際になってやっと恐怖を感じる弱さに。

俺は、目の前のトラックを睨みつける。

聞こえてるよ。だからクラクションを鳴らすの、やめる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2117c/>

絶望

2010年10月25日23時45分発行